

平成 29 年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第 2 回議事録（要旨）

日 時：5 月 9 日（火）午後 6：15～8：00

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 9 名（中里委員、小餅委員、牛田委員、柴田委員、中島委員、
高木委員、小島委員、島津委員、北山委員）

事務局 3 名

1 開会

- ・今回初参加となった委員の自己紹介

2 議題

(1) 憲法月間記念行事について【資料①】

- ・事務局より、当日の流れについて説明。

(2) 夏季平和事業について【資料②、資料③】

- ・事務局よりパネル展の予定について説明。

【委 員】 昨年 DVD の上映時再生画面が小さかったため、できれば大きい液晶で上映したい。自動再生で大きい画面に上映し、そこに椅子が並べてあれば、見てくれる人が必ずいると思う。

【委 員】 他の部署で借りることができるか。

【事務局】 他の部署に確認しておく。

- ・事務局より、講師案について説明。

【委 員】 子ども向けと一般向けの二本立てと考えていいのか。

【事務局】 3 日または 4 日に一般向けを、4 日に子ども向けを予定しており、二本立てになっている。

【委 員】 ギャラリーで行われる子ども向けのイベントとフォーラムでの一般向けのイベントとの並行はできないのか。

【事務局】 並行は難しい。

【委 員】 例えば、案として出ている小出先生の講演や映画の上映は子供向けになるのか、一般向けになるのか。

【事務局】 基本的には一般向けになる。

- ・委員による小出先生や象列車に関する説明（配布資料）

【委 員】 例えば、一般向けと子ども向けで隔てず、講演と桜キッズなどによる象列車の朗読を組み合わせたりするとおもしろいのではないか。アーサー・ビナード氏はご都合により 11 月 23 日のイベントは見送りとなる。「母と暮らせば」を上映すれば若い人も含め 100 人ぐらいは見るのではないか。

【委 員】 消去法で考えても「母と暮らせば」上映になるのではないか。

【委 員】 小出先生の講演は小出先生のご都合を聞いてみなければならないが、子どももの取り組みと組み合わせれば、話も聞けて人も集まり一石二鳥ではないか。しかしそ

のためにはスタッフの人数が必要になる。

【事務局】 昨年桜キッズによる「かわいそうな象」の朗読を行っているので、慣れてはいる。

【副委員長】 去年映画を見てくれた人は、来年は「母と暮せば」かな、と言っていた。

【委員】 講演よりも映画のほうが関心を抱きやすい。

【事務局】 アンケート結果にも「母と暮せば」を期待する声があった。

【委員】 平成 26 年に上映した中村里美氏の新しい作品があるが、テーマが一致するものではない。

【委員】 長崎派遣の時期はどうなっているか。

【事務局】 長崎派遣は 8 月 8 日から 10 日まで。

【副委員長】 去年の段階では、「母と暮せば」の期待度は高かった。

【事務局】 去年と今年で連続性があるのもいいのではないか。

【委員】 上映時間はどのくらいか。

【事務局】 130 分。

【副委員長】 子ども向けイベントにおいて歌を歌う団体にミュージカルをお願いするのはどうか。

【委員】 団体をお願いするのではなく、武蔵野市に住む子どもたちをお願いすることで親や友人をはじめ多くの市民が来てくれるということもあるのではないか。

【副委員長】 夏季平和事業においては、両日とも午後を予定し一般向けに映画、子ども向けは桜キッズさんに伺う方針で進めていく。

(3) 平和の日イベントについて

・事務局より平和の日イベントについて説明。

【委員】 武蔵野市と関連していることを追及したい。

【委員】 アーサー・ビナードさんのご都合が合わなかった。美輪明宏氏をお呼びしたいが、予算の関係で厳しいだろう。

【副委員長】 次回に各自アイデアを持ち寄る。

(4) その他

・事務局より、中央公園に設置される説明板に関する現状の報告

【委員】 中島を知らない多くの市民が見てわかるようなものができるといい。

【委員】 5 連の説明板の他に、地下道の一部を展示するに伴い設置する説明板、照準地は研究中だが爆撃照準点に設置する説明板が予定されている。

【委員】 空襲される前やその理由、役割など、爆撃前の中島を知ることによって立体的に理解することができると思う。

・井の頭公園 100 年に関する読売新聞に委員の記事が掲載されている。

・次回の委員会は、6 月 13 日（火）午後 6 時 15 分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会